

# バングラデシュ・ホビゴンジ県における 環境教育を通じた環境保全と 森林再生プロジェクト

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

鳥用巣箱の設置 **400個**

環境祭りの参加者 **6,000人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**



環境祭りでの展示ブース

## 苦勞した点と工夫した点

### ■ 苦勞した点

2017年洪水により、収穫前の稲が大打撃を受け学童生徒の出席率が低下。活動の低迷が危惧されたが稲作研究所の協力を得てそのリスクの軽減を図ることができた。

### ■ 工夫した点

行政に対して常に情報を発信するとともに、公の場で環境教育の必要性を訴え続けた結果、行政からも感謝状を受けることができた。新品種導入はローカル紙にも掲載された。

## 課題

地域の工業化に伴い環境が悪化していることに対して、住民の意識が低いこと。また環境保全のためのイニシアティブをとらないこと。

## 目標

地域住民が、持続可能な環境保護活動に参加・行動すること。行政機関が本プロジェクトを認知し、その活動の一部あるいは全体を引き続いて実施できるようになること。

## 活動内容と成果

ホビゴンジ県内にある60校の小学校・高校で環境クラブを結成し(1,500人)、学校や地域内美化・緑化に努めた。地域内2か所に苗木生産所をつくり、地域住民への苗木配布(約7.6万本)を実施した(活着率約58%)。

これらの活動を通じ、地方教育行政も環境教育の重要性を理解し、事業対象外の学校でも花壇設置のための予算化が行われた。

2017年洪水により収穫前の稲作が大打撃を受けたことで、早期に収穫できる稲作の実証実験を実施、収穫が早まっただけでなく収量の増産など大きな成果を得られた。



環境絵画コンクールでの授賞式

## 全助成期間の活動を振り返って

初等教育のプログラムはこの地域で長く取り組んできたので、今回環境教育を通じた環境保全の取組みはある程度成果を予測できたが、2年度後半に発生した洪水により地域の農業が壊滅的な打撃を受け、それに対して取り組むNGOもなかったことから、地球環境基金の資金から気候変動リスクの軽減のための農業事業に取り組むこととなった。事業が終了する今その成果が想定以上に見込めることから本基金には感謝したいと思っている。

| 活動地域 | バングラデシュ

Srabon Villa, House No.5485/3, Rajnagar Residential Area, Habigonj-3300, Bangladesh  
電話 : +880-1711975443, 01915469393  
E-mail : asedbd.org@gmail.com, ased\_bd@yahoo.com  
<http://www.asedbd.org>



## 今後の展望

小学校で環境について学んだ子どもたちが高校生になり、これまでの学びや経験をより深化させるための工夫を考えていると同時に、行政との連携により活動がより充実したものになることが分かったので、今後はハオール(大湿地帯)の環境保全と気候変動への適応をより包括的に地域住民や行政を巻き込んだ活動としていくべく努力するつもりである。